

くぎ打ちトントンで誕生したよ

図画工作科では、「くぎ打ちトントン」の学習をしました。木材に釘を打ち、動物や置き物などを作りました。はじめてくぎ打ち体験をするという児童が多く、金づちを手にした表情は興味津々。注意事項を守って、真剣に楽しく制作活動を行いました。

図工室に鳴り響くトントンという音。気がつけば、細長い木材や薄い木材を上手く使って、素敵な作品がたくさん出来上がりました。「何を作ったのかな？」と聞くと、「犬の親子です。子どもが背中に乗ります。」「うさぎの耳を薄い板で表現しました。」など、作品に対するこだわりを嬉しそうに話してくれました。他にも、「もっと木材が欲しいです。」や「木材を切りたいです。」という子どもの言葉から、作りたい物のイメージが広がり、それを形にしたいという想いが伝わってきました。これを機に、家でも金づちを使って制作活動を楽しむ子どもが出てくるかもしれませんね。



動物の足が動くようにしたいな。そうだ！大きい木材に、薄い木材を釘でトントンするぞ！



よし！手が完成！次は頭を作るよ。くりくり目玉がかわいいな。



間違えて打っても大丈夫。ペンチで釘を抜くことも覚えたよ。